



監査報告書

令和4年 5月20日

社会福祉法人 あかりの家

理事長 西尾 淳 様

監事 中野 直子 

監事 山本 弘幸 

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

【事業全般について】

- ①定款第1条に規定される事業については、事業計画に沿って実施され、また結果についても適切に事業報告がされている。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は、法令若しくは定款に違反する重大な事実はみとめられません。

【各事業について】

- ③前年に引き続き、コロナ禍において利用者から感染者を出さなかったこと、また、近隣火災時に迅速な避難対応ができたことは、職員の危機管理意識の高さと日頃からの連携の賜であり、結果として日々の取組みが成果という形で現れたものと思われる。
- ④障害者支援施設あかりの家の利用者支援については、高度な専門性に基づく幅広い職員研修により職員の意識向上と利用者個々に対応した支援の充実が推察される。今後とも利用者の高齢化に伴う健康管理上の問題や感染症対策などにも考慮しながら利用者の立場に立った支援に努めていただきたい。また、県の受託事業である強度行動障害支援については、支援人数に限りはあるが、あかりの家ならではの高い専門性を活かした事業として期待される。
- ⑤児童発達支援や放課後等デイについては、人材育成に努め新規事業所の開設に至ったことにより、今後さらに増加するニーズに応じていくことが期待される。また、保育所訪問事業においては、培った療育技術を支援が必要な子ども達に還元すべく、関係機関と連携を図り、認知度を高めていけるよう事業の周知に努めていただきたい。
- ⑥ワークホーム高砂については、働き方の見直しや作業環境の改善に積極的に取組み、作業効率の向

上に努めている。将来を見据えたゴトウアズプランニングとの調整や保護者会との連携に努めるとともに、利用者の生活全般に関わる支援の継続に努めていただきたい。納豆工房なっとこちゃんにおいては、年度途中から単独事業所としてスタートを切り、今後を見据えた計画のもと着実に事業展開がなされている。いずれの事業についても工賃が高い水準を維持出来ていることは、評価に値する。

- ⑦ひょうご発達障害者支援センタークローバーは、高校生年代やひきこもりなど支援の対象が多様化する中で、県の委託事業として益々幅広く信頼され評価されていることが推察される。また、ランチ的機能においては、地域の窓口機関への支援や家族支援、普及啓発や就労・相談支援など多岐にわたる活動をされているが、地域性や限られた人員の中で、センターに真に求められる役割検討を進められたい。
- ⑧地域支援センターあいあむについては、東播磨圏域における地域支援の拠点としての役割も大きく、業務も多忙ではあるが、職員の健康管理に留意しながら、今後も専門性を活かして地域の期待に応えるよう取り組んでいただきたい。基幹相談支援センターの運営体制については、業務量に見合った人員体制の確保に努められ、懸案だった市との交渉において一定の成果が見られる。
- ⑨施設の維持管理において、施設設備の老朽化により修繕等の対応が増えてきているように思われる。計画的な法人運営が行えるよう、今後、施設等の状況調査結果をもとに施設等整備計画を立てるなどして、取り組んでいただきたい。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

- ①電子請求書、電子領収書について一応の対応はされているが、まだ経理業務の流れとして組み込まれていない状態である。早急に業務の流れを作成する。
(2年間の経過措置があるため、今期については、問題はない)
- ②一部、総勘定元帳の出力ができていないものがあつた。原因を追究し、今後このようなミスをしないうよう改善する。
- ③その他財務諸表を監査した結果、特に問題はありませんでした。

以上